

立神峡だより

「ヒロシのひとりキャンプのすすめ公式本」が発売

ヒロシさんといえば、かつて「ヒロシです…」のネタで一世を風靡したお笑い芸人ですが、今ではキャンプブームの立役者で有名になり、熊本県人の誇りでもあります。そのヒロシさんが今回、「ヒロシのひとりキャンプのすすめ公式本」を出版しました。

KAB 熊本朝日放送で放送された内容や、キャンプ用品の紹介、スタッフたちとの愉快的な会話、料理の方法、焚火会など盛りだくさん。これからキャンプを始めようとしている人にもお勧めの1冊です。また、本にはヒロシさんが訪れた県内各地のキャンプ場も紹介されており、その中にはもちろん立神峡もあります。ぜひ、ご一読ください。



廃材を利用した薪づくりに励んでいます

廃材といっても、れっきとした木々です。以前も紹介しましたが、氷川ダムは大雨のたびに上流の山ががけ崩れし、流木がダムに入り込むため、その回収が課題となっています。その廃材となる流木を、立神峡公園では喜んで受け入れて、薪として活用しています。

見てくださいこの樹齢数十年の立派な杉を。柱にできれば良いのですが、水を大量に含んでいるため難しいようです。あらかじめ60cm前後にカットして運んでもらい、油圧式薪割り機でカットすれば薪の完成。キャンプブームもあり、焚火に癒されたいと多くのキャンパーが購入されるため、ダム側も公園側もお互いにメリットがあります。これからの寒い冬に向けて、薪づくりに励む毎日です。



12月3日（土）の15時から19時は立神峡公園で「氷川夕暮れ市」を開催します

氷川町を中心に人気のお店が公園内に集結する、森のマルシェを初開催します。音楽やライブパフォーマンス、発酵のプロが教えるワークショップや、羽釜で無農薬米を炊いておむすびを作ったりと、盛りだくさんの企画で、夕食もあります。ちょうどその時期は紅葉が最高潮に美しい時期であり、見学者も多いと予想しています。公園側でも最大限のおもてなしを企画しています。



今年を振り返って考える

今年も振り返ってみれば色々なことがありました。コロナの影響が少しずつ収まったことで宿泊客の回復傾向が見られ、公園の売り上げも回復してきています。施設については、火の国橋と龍神橋の洗浄・塗装やトンゴ山までの遊歩道を整備しました。また、補助金を活用して、管理棟ベランダやログハウスのイスや感染予防対策備品の購入、公園内のクヌギ伐採、里地屋敷とテントサイトの樹木剪定、里地屋敷五右衛門風呂の床交換、遊歩道への紅葉移植、常設テント交換、道路整備、竹林整備などを実施しました。

来年も今年以上に整備に力を入れていきますので、皆さまのご支援よろしくお願いします。皆さま良いお年をお迎えください。

お問い合わせ先 立神峡公園管理棟 ☎ 0965-62-1543 FAX 0965-62-1546 定休日（火曜日）

（株）ダンテック企業版ふるさと納税で寄附

（株）ダンテック（熊本市）が、企業版ふるさと納税を活用して本町へ寄附をされました。本町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の事業に活用させていただきます。▲詳しくはこちら
問 企画財政課 企画係 ☎ 0965-52-5850



毎年恒例のわらしべ市

まちづくり酒屋にて、友好町の北海道大空町や全国各地のグルメが集結するわらしべ市を開催します。

日時

12月10日㊥～25日㊤ 10時～17時(月曜休館)

1週目

チーズ(北海道)、ふじりんご(長野県)など

2週目

じゃこ天(愛媛県)、つるしベーコン(宮崎県)など

問 まちづくり酒屋 ☎ 0965-53-5550

定住自立圏イベント情報

八代市 | 八代市立博物館「亀蛇の競演」

亀蛇とは亀と蛇が合体した想像上の動物です。八代妙見祭の亀蛇と氷川町宮原三神宮の原田の亀蛇を展示しています。実際に祭りで使われた亀蛇の構造や装飾の違いを観察してみてください。

期間 令和5年1月9日㊤まで

時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
毎週月曜は休館(祝日は除く)

場所 八代市立博物館未来の森ミュージアム

問 八代市立博物館 ☎ 0965-34-5555

氷川ふるさとBOX

町の特産品やスイーツを詰め合わせた氷川ふるさとBOXを販売します。締切りは12月23日です。

・特産品セット 4,480円 ・お菓子セット 2,500円
・冷凍商品セット 5,000円

※すべて税込み、全国送料無料

問 氷川町商工会 ☎ 0965-62-2021

販売戦略活動を応援

商工業や観光の活性化などにつながる販売戦略活動を行う団体を応援するため、5万円を上限に助成金を交付します。詳しくはお問い合わせください。

対象事業

- ・団体が開催する研修会での講師への謝金や旅費
- ・研修会への参加旅費
- ・展示・販売を行うための旅費、会場借用費
- ・その他事業を行う上で必要と認められる経費

問 地域振興課 地域振興係 ☎ 0965-62-2315

芦北町 | 星野富弘 特別展と季節の常設展

美術館の来館者アンケートで選ばれた、人気の高い星野富弘の作品の数々を展示します。

また、季節の常設展「冬」では、冬の草花を題材とした作品を紹介します。

期間 12月13日㊤～令和5年3月12日㊤
9時～17時（第2・4月曜休館）

場所 芦北町立星野富弘美術館

問 芦北町立星野富弘美術館

☎ 0966-86-1600

各種相談（市外局番 0965）

相談内容	日時	場所	お問い合わせ先
特設人権相談	12月5日㊤ 10時～15時	宮原福祉センター	総務課 行政係 ☎52-7111
【要予約】消費生活相談	12月14日㊤ 10時～17時	役場相談室	総務課 生活安全係 ☎52-7111
【要予約】弁護士相談	12月16日㊤ 13時30分～16時	竜北福祉センター	
行政相談	12月16日㊤ 13時30分～15時30分	竜北福祉センター	総務課 行政係 ☎52-7111
【要予約】認知症相談	令和5年1月5日㊤ 14時～	宮原福祉センター	地域包括支援センター ☎62-3456